

I. 感染対策チーム（ICT）



【Clean handキャンペーン】

2010年度より毎年ICTを中心に医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、リハビリテーションセンター、栄養部、事務職などによる約30名のプロジェクトチームを結成し、多職種による全病院的なキャンペーンの運営にあっている。「蛍光塗料を用いた流水と石けんによる手洗い」「アルコール手指消毒」を隔年毎に実施しており、2023年度からは手指衛生のみならず標準予防策を伝える機会として、キャンペーンを開催し、2025年度はアルコール手指消毒および個人防護具の着脱を行った。参加者は2,188名であり、全スタッフの88.3%の参加が得られた。職種別では常勤医師 544/672名(81.0%) (教授70.3%、准教授・講師82.6%、助教・病院助手 79.1%、レジデント・研修医 86.2%)、看護師895/977名(91.6%)、その他のメディカルスタッフ 483/546名(88.5%)、事務職 266/283名(94.0%)であった（I-1）。

【環境ラウンド】

2011年度より看護部感染防止委員会によるラウンドを開始し（それまでは自主チェック）、2012年9月から感染制御部によるラウンド、2016年4月からICTによる多職種ラウンドを開始した。ラウンドは①病棟部門は1部署あたり1回/月、②侵襲的な手術・検査を行う外来、中央部門は1部署あたり1回/2か月、①②に該当しない部署は1回/年、定期的実施し、2025年度の年間総ラウンド回数は病棟部門48回のべ312部署、中央部門36回のべ162部署、それ以外の部署は17回のべ32部署であった。

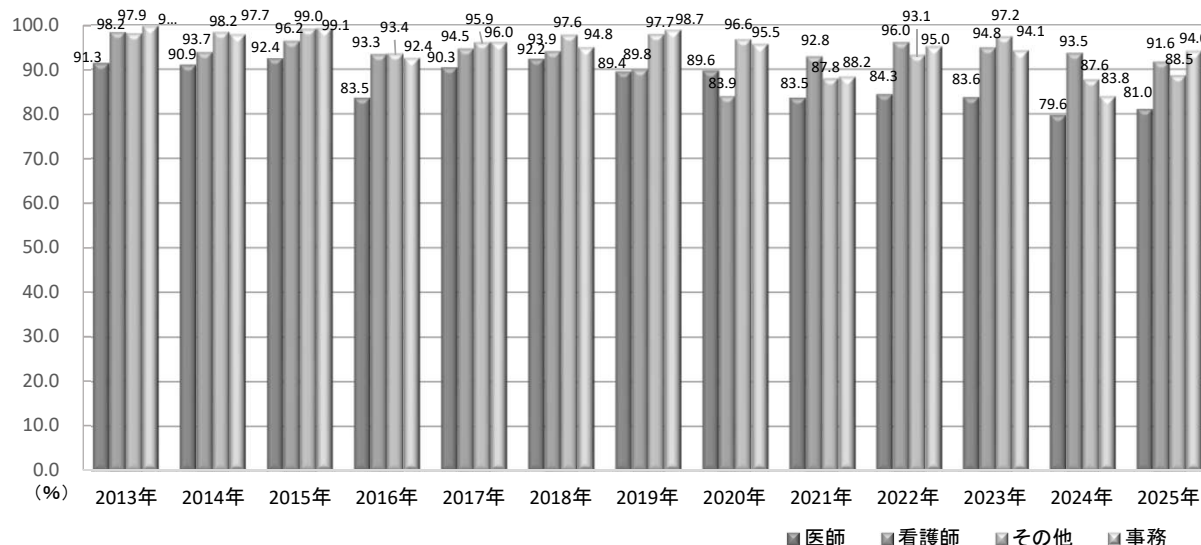
【手指衛生】

手指衛生は、医療関連感染対策の基本であり、院内感染対策において最も重要な実践項目の一つである。ICTでは、Clean Handキャンペーンや環境ラウンド等を通じて、手指衛生の重要性と適切な実施方法の周知を継続している。また、2024年度から病院全体に導入したWHO手指衛生多角的戦略を踏まえ、職員一人ひとりが適切なタイミングで確実に手指衛生を実践できるよう、啓発活動を継続している。

チーム医療の様子 -Clean hand キャンペーン-



I-1 Clean handキャンペーン職種別参加者割合の推移



全体参加率	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
	2,392 (88%)	2,518 (84.7%)	2,398 (92.2%)	2,301 (92.2%)	2,164 (87.2%)	2,188 (88.3%)